

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

私たちは、豊かな自然に恵まれたここ新潟の地から、次世代の新しい社会のあり方を模索し、実現するために、市民による発電事業を開始することを決めました。

この事業を通じて私たちは、自らエネルギーのあり方を考え、実践するのみならず、地域の食、農、自然、伝統、歴史を活かし、未来の世代のための新しい地域の姿を新潟から創りだしたいと思えます。



会場 **新潟市万代市民会館 6F多目的ホール**

住所 新潟市中央区東万代町9番1号 TEL 025 - 246 - 7711

後援 全国ご当地エネルギー協会、新潟市、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、NST、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ 21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

協力 特定NPO法人環境エネルギー政策研究所 (ISEP)

主催 「おらって」にいがた市民エネルギー準備会  
<http://www.oratte.org/>

新潟市補助事業

## 今日集まってくださったみなさまへ

「おらって」にいがた市民エネルギー準備会代表 佐々木 寛

本日は、ご多用の中、ご参加いただきありがとうございました。私たちは新潟で市民による発電事業を始めるため、今年歩みを始めました。「市民が発電する」というのは、少々おかしな響きがあるかもしれませんが、しかしこの試みには、とても重要な意味があります。自分たちの生活にとってもっとも基本的なエネルギーについて、もっと関心をもち、そのつくられ方や使われ方について自覚をすることは、実は自分たちの生活のあり方や子どもたちの未来について責任をもつことでもあるからです。

2011年3月11日の福島第一原子力発電所の事故は、日本の私たちに深く反省をせまるものでした。この悲劇をふまえて、もともと原子力発電に賛成する人たちも含め、将来の日本では、太陽光や風力、水力、地熱といった「再生可能エネルギー」の可能性をさらに追求すべきであるということが、共通の理解となっています。私たちは、新潟の遠い未来の世代を見すえ、負の遺産ではなく、新しい社会のあり方や生き方を残したいと思っています。未来の社会は、中央で大量のエネルギーをつくって分配するという社会ではなく、それぞれの地域が自分の足で立って、自分たちの生活や安全を実現する、いわば<分権的>な社会になるでしょう。その新しい社会の準備を、今から始めようと思えます。

「おらって」とは、新潟のことばで「私たちの」という意味です。しかしあえて方言を持ち出したのは、「Oratte」というその響きが何だか新鮮に感じたからというだけでなく、新潟の伝統を再発見するという意味もこめられているからです。古くからあったライフスタイルの中にも、「省エネ」をはじめ、本当に豊かに生きるための先人の知恵を発見できるかもしれません。そしてこのほかにも、発電事業を通じて、多くの<夢>を語るができるでしょう。地域に若者が誇りをもって取り組むことができる多くの仕事を生み出すこと。新潟の豊かな自然を生かして、県外や外国からも多くの人々が訪れるような魅力的な街づくりを実現すること。環境教育を通じて、地域全体で取り組む新しい市民教育の姿を創りだすこと…。

つまり、発電事業は、実はほんの第一歩にすぎません。発電事業で得られた経験や収益は、すべて新潟の未来を明るくするための他の事業に供されます。「市民が発電する」意味は、まさにここにあります。今日は、この新しい社会のあり方をすでに実践されている日本各地の皆さんをお招きし、その可能性についてお話をうかがいます。そしてそれをふまえて、私たち新潟のこれからについても、参加者のみなさんと話したいと思っています。後半は、各部屋に分かれたワークショップが企画されていますが、ここでは今日お集まりの皆さんの<夢>を存分に語っていただきます。そして、その数々の<夢>を、ここ新潟における市民発電事業にとって、まさに今後の基本目標としたいと思っています。

今日はぜひ、存分に楽しみながら、かつ真剣にご参加いただければ幸いです。今日の歴史的な日を喜びつつ、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。



# 本日のスケジュール

13:00

## 開会あいさつ・趣旨説明

キックオフイベント開催にあたり、「趣旨」「これまでの経緯」

「今日の流れ、参加のしかた」を分かりやすく説明いたします。

13:20

## パネルディスカッション「全国ご当地電力大集合」

日本全国に先駆けて、市民が自らの手で電力会社を立ち上げています。

その想いを聴き、取り組みやアイデアを学んでみませんか？

### 【コーディネーター】

飯田 哲也（全国ご当地エネルギー協会 事務局幹事認定・特定NPO法人環境エネルギー政策研究所(ISEP)所長）

佐々木 寛（新潟国際情報大学 国際学部 教授・「おらって」にいがた市民エネルギー準備会）

### 【パネリスト】

鈴木 亨（全国ご当地エネルギー協会 北海道地区幹事・NPO 法人北海道グリーンファンド理事長）

佐藤 彌右衛門（全国ご当地エネルギー協会 東北地区幹事 代表幹事・会津電力株式会社 代表取締役社長）

服部 乃利子（全国ご当地エネルギー協会 東海地区幹事 副代表幹事・しずおか未来エネルギー株式会社 代表取締役社長）

井上 保子（全国ご当地エネルギー協会 近畿地区幹事 副代表幹事・株式会社宝塚すみれ発電 代表取締役）

政処 剛史（宝塚市新エネルギー推進部 課長）

白井 智雄（新潟気軽に省エネクラブ・「おらって」にいがた市民エネルギー準備会）

14:50 休憩

15:00

## ワークショップ「自由に語ろう」～市民エネルギーが切り拓く新潟～

小グループに分かれて、和やかな雰囲気ですべて自由に語り合しましょう！

16:30 休憩

16:40

## クロージング「まとめ」「これから」

本日の「まとめ」に続いて、「おらって」の将来像、

一人一人の関わり方、次回イベントの内容などをご説明いたします。

17:30 懇親会 ※事前申込された方

## パネルディスカッション 参加者プロフィール



飯田 哲也（いいた てつなり）  
特定NPO法人環境エネルギー政策研究所(ISEP) 所長

### 【プロフィール】

1959年、山口県生まれ。  
京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修了。  
東京大学先端科学技術研究センター博士課程単位取得満期退学。

原子力産業や原子力安全規制などに従事後、「原子カムラ」を脱出して  
北欧での研究活動や非営利活動を経て ISEP を設立し現職。自然エ  
ネルギー政策では国内外で第一人者として知られ、先進的かつ現実的  
な政策提言と積極的な活動や発言により、日本政府や東京都はじめ地  
方自治体のエネルギー政策に大きな影響力を与えている。

国際的にも豊富なネットワークを持ち、21世紀のための自然エネ  
ルギー政策ネットワーク REN21 理事、世界バイオエネルギー協会理事、  
世界風力エネルギー協会理事なども務める。

3.11 後にいち早く「戦略的エネルギーシフト」を提言して公論をリー  
ドしてきた。

福島第一原子力発電所事故発生以降は、経済産業省資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会基  
本問題委員会委員や、内閣官房原子力事故再発防止顧問会議委員を歴任した。

2014年より一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会 事務総長をつとめ、地域からのエネルギーシフ  
トを進めるために全国を奔走中。主著に『エネルギー進化論』ちくま新書、など多数。

### 【新潟市民へのひとことメッセージ】

「おらって」の今日の小さな第一歩は、新潟の明日のエネルギー自立への大きな出発点となることを確  
信しています。



鈴木 亨（すずき とおる）  
NPO 法人北海道グリーンファンド 理事長

### 【プロフィール】

1957年、北海道生まれ。

自治体職員、生協職員を経て、1999年、NPO 法人北海道グリーンファ  
ンドを設立し理事・事務局長に就任。

2011年理事長に就任（現職）。

誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できる「グリーン電気料金制度」  
を開始し日本初の市民出資型の風力発電事業を行う。

市民風車のパイオニアとして、各地の取り組みを支援する。

株式会社市民風力発電（2001年）、株式会社自然エネルギー市民ファ  
ンド（2003年）を設立し代表取締役を兼務する。

2012年9月 株式会社ウェンティ・ジャパン設立し取締役副社長に就任する。

同年12月一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構理事長に就任する。

その他役員就任中の事業目的法人多数あり。

### 【新潟市民へのひとことメッセージ】

自然エネルギーは新しい新潟の創出に向かう不可欠の資源です。

自立したエネルギー経済社会づくりへ出発！

## パネルディスカッション 参加者プロフィール



佐藤 彌右衛門（さとう やえもん）  
会津電力株式会社 代表取締役社長

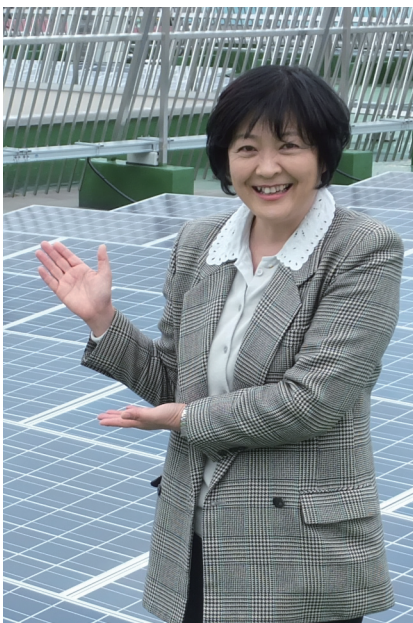
### 【プロフィール】

昭和 26 年 福島県喜多方市生まれ。東京農業大学短期醸造卒業後、帰郷。合資会社大和川酒造店 入社。近隣の農家と提携して有機農法による酒米づくりに取組み、酒造米の自社栽培を始める。平成 2 年 最新醸造蔵「飯豊蔵」建設移転。平成 17 年 九代目 佐藤 彌右衛門 に改名。平成 22 年 3 月の東日本大震災と原発事故の直後、交流のあった飯舘村に水を詰めた一升瓶をトラックにつんで駆けつけた。その後、地元にある資源をつかってエネルギーを作り出そうと決意。平成 25 年 8 月 会津電力株式会社 設立。同社代表取締役社長 就任。現在、太陽光発電所を建設中。（1メガワット発電所1ヶ所、中・小規模発電所を計21ヶ所、今年10月完成予定）平成 26 年 5 月全国ご当地エネルギー協会発足。同代表幹事に就任。

シザケジャパン株式会社 会長。プロジェクト会津株式会社 社長。日本地酒協同組合 理事長。いいたてまでの会 代表幹事。NPO 法人まちづくり喜多方、一般社団法人ふくしま会議、一般社団法人会津自然エネルギー機構、各理事を務める。

### 【新潟市民へのひとことメッセージ】

「おらって」にいがた市民エネルギーの立ち上げおめでとうございます。新しい地域の姿を共に創っていきましょう！



服部 乃利子（はっとり のりこ）  
しずおか未来エネルギー株式会社 代表取締役社長

### 【プロフィール】

環境省認定環境カウンセラー  
環境省認定 IPCC リポートコミュニケーター  
静岡県・静岡市環境学習指導員  
NPO 法人アースライフネットワーク理事  
会議ファシリテーター普及協会理事

地球環境、地球温暖化の現状を伝えながら、毎日の暮らしの中でできることを中心にした省エネ講座やグリーンコンシューマーの視点を取り入れたワークショップなどを実施。

学校への派遣授業や自治会、公民館講座などへ年間約 20 回の出前講座を行っている。

「わかりやすく、楽しく」がモットー。

現在は、静岡県地球温暖化防止活動推進センターのゼネラルマネジャーを務めるとともに、コミュニティパワーによる再生可能エネルギーの普及推進をメイン事業とする「しずおか未来エネルギー株式会社」を設立。代表取締役社長を務める。

### 【新潟市民へのひとことメッセージ】

「新潟」と言えばお酒とおいしいお米！

豊かな自然に恵まれた新潟に眠る再生可能エネルギーという宝物を沢山発掘してください。



## パネルディスカッション 参加者プロフィール



井上 保子（いのうえ やすこ）  
株式会社宝塚すみれ発電 代表取締役  
政処 剛史（まどころ たけし）  
宝塚市エネルギー推進課 課長  
【プロフィール】

私たちは宝塚市で30年余、市民運動を続けてきました。安全な食べものの共同購入や、あらゆる環境問題にかかわる人たちが仲間です。2011年の福島原発事故で、今までと同じことをしては過ちを繰り返すと思い、行政への働きかけを始めました。2012年4月に「新エネルギー推進課」が宝塚市にでき、私たちも一緒に歩む覚悟を示すためにあえて同じ文字を使い、「NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会」を設立しました。積極的に行政に働きかけ、一歩ずつ歩み寄る努力をしてきました。そして市内初の市民発電所を2012年12月に作りました。行政も広報などを通して応援してくれ、2013年にはNPO法人が母体となって事業会社を設立しました。それが非営利型株式会社宝塚すみれ発電です。2013年11月には市民発電所の2号機が完成しました。

宝塚市では今年6月に再エネに関する基本条例が制定され、市民発電所モデル事業もスタートします。どちらも私たち市民がほしかったものです。市民には市民の、行政には行政のできる仕事があります。反目しあうのではなく、お互いを補い合いながら自分たちのエネルギーをこれからも創っていきたいと思っています。

### 【新潟市民へのひとことメッセージ】

息の長いゆるやかな連携で、みなさんにぴったりと寄り添う地域エネルギーを創っていきましょう！



佐々木 寛（ささき ひろし）  
「おらって」にいがた市民エネルギー準備会 代表

### 【プロフィール】

新潟国際情報大学国際学部教授。専攻は、国際政治学、平和研究。

広く核エネルギーをめぐる安全保障や市民政治について研究。

1966年生まれ。立教大学法学部助手、日本学術振興会特別研究員等を経て、現職。2008年～2009年カリフォルニア大学バークリー校客員研究員。日本平和学会会長。

主な近著として、『「3・11」後の平和学』（編著 早稲田大学出版会 2013年）、

「政治理論における〈核〉の位置づけに関する若干の考察」（『立教法学』 2012年）、『地方自治体の安全保障』（編著 明石書店 2010年）、『戦争と権力』（P・ハースト 訳書 岩波書店 2009年）など。



白井 智雄（しらい ともお）  
「おらって」にいがた市民エネルギー準備会 メンバー

### 【プロフィール】

「新潟気がるに省エネくらぶ」と言うグループで省エネの普及に努めています。

また、縁あって2年前、ある製材所さん所有の炭焼き窯をお借りできました。

製材所からは、製材端材やかんな屑等木質の廃材が多く出ます。これが概ね焼却処分されていました。

「もったいない」これを譲り受け、かんな屑は燻炭に、端材は伏せ焼炭に焼き、土壌改良として使ってもらう事で、「炭素の地下貯留」という思ってもみない「カーボンマイナス」の完結と意気込んでいる所です。

現在、ほぼ90%の電力を火力発電に頼っていて、その化石燃料の96%を輸入に頼っています。新潟の再生可能エネルギーでエネルギーの地産地消をと新潟の、日本の将来をと考えています。

## 海外の動き 参考図書の紹介



○『なぜ、デンマーク人は幸福な国をつくることに成功したのか』  
 どうして、日本では人が大切にされるシステムをつくれないのか？

著者：ケンジ・ステファン・スズキ（合同出版）

世界最高レベルの社会保障制度を整え、食料もエネルギーも自活、世界でもっとも民主主義が進んでいる国、デンマーク。「共生」の政策理念の基盤となる国の歴史と国民の姿を通して、年金・雇用・貧困・格差・「愛国心」・環境・エネルギー・食料など問題の山積する日本社会を見つめ直す内容となっています。



○『100%再生可能へ！ドイツの市民エネルギー企業』

著者：村上 敦・池田 憲昭・滝川 薫（学芸出版社）

エネルギーのしくみを変えるビジネスの最前線。ドイツで活発化する、市民が立ち上げたエネルギー株式会社、エネルギー組合、都市エネルギー公社といったビジネスモデルを代表的な事例を通して解説しています。

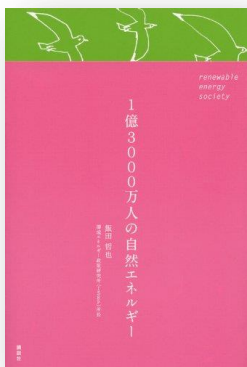
エネルギーあり方・しくみを変える社会や経済について、ヒントになり得る1冊です。



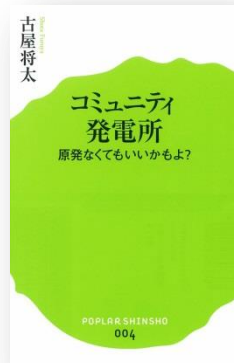
○『100%再生可能へ！欧州のエネルギー自立地域』（学芸出版社）

編著者：滝川 薫／著者：村上 敦・池田 憲昭・田代かおる・近江まどか  
 ドイツ・オーストリア・スイス・イタリア・デンマークにおけるエネルギー自立の潮流と定義、地域社会へのメリットや促進プログラム、国レベルへのビジョンの広がりを紹介しています。

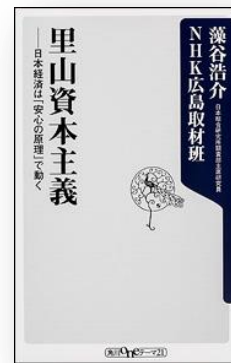
地域のもつ資源を総合的に活かして電力や熱エネルギー自立に取り組んでいる事例や、農村部から都市部まで異なる規模やタイプの計画から実現に至るまでのプロセス・効果・課題について記されています。



『1億3000万人の自然エネルギー』  
 著者／飯田 哲也



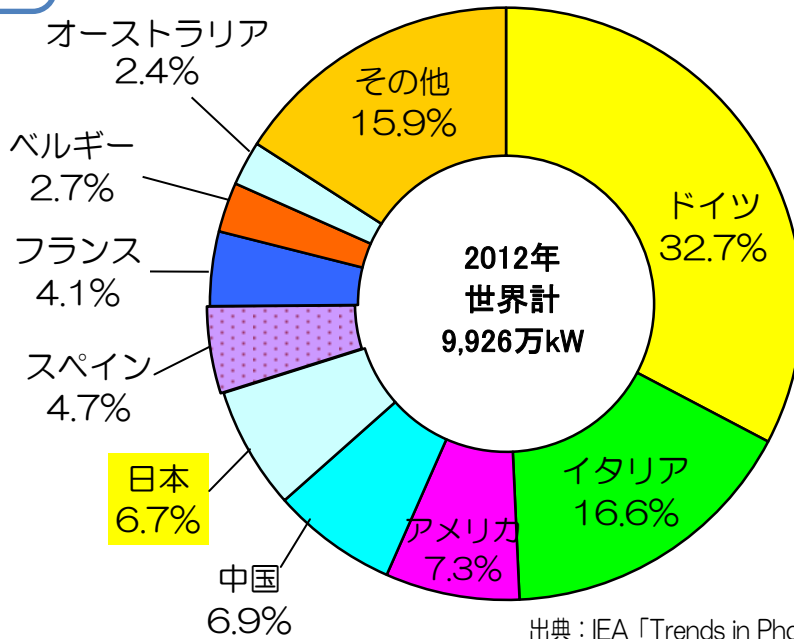
『コミュニティ発電所  
 原発なくてもいいかもよ？』  
 著者／古屋 将太



『里山資本主義』  
 著者／藻谷 浩介・NHK 広島取材班

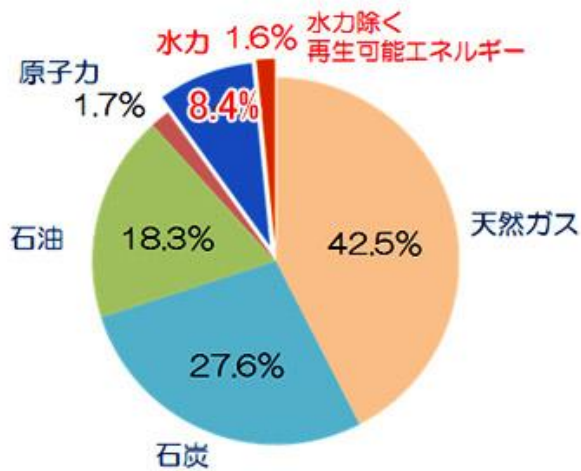
## 海外の動き

【世界の累積太陽光発電設備容量(2012年)】



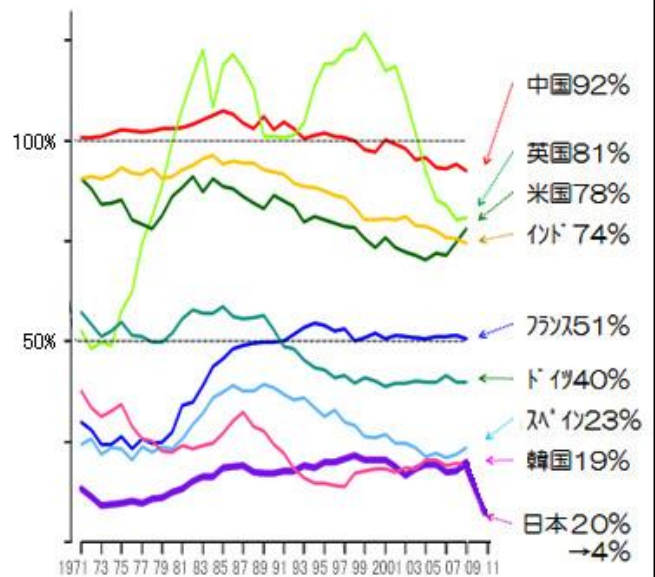
出典：IEA「Trends in Photovoltaic Applications (2013)」

【我が国の年間発電電力量の構成(2012年度)】



〈出所〉電気事業連合会「電源別発電電力量構成比」

【各国エネルギー自給率(原子力含む場合)の推移】



〈出所〉IEA「Energy Balance of OECD Countries 2011」

**ドイツ** 1986年 チェルノブイリ原発事故、2002年脱原発法制化。福島原発を契機に17基稼働中の原発のうち8基が即時廃炉。9基は2022年までに廃炉予定。

**オーストリア** 木質バイオマスエネルギー利用が盛ん。2010年の電力生産に占める再生可能エネルギーの割合は65.3%。そのうち、水力が56.5%、風力が3%、バイオマスが6.7%。

**スイス** 福島原発事故を受けスイス政府は昨年「段階的脱原発」を宣言。5基の稼働中の原発を2019年～34年頃までに順次廃炉にし、代替の原発新設も行わない。

**イタリア** 国民投票の末、原子力発電所の利用を断念。



## 日本の動き

全国各地で環境やエネルギーに関する活動が行われています。

### ○ 千葉県「大地を守る会」

住所／千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデンD棟 21階

メールアドレス／[information@member.daichi.or.jp](mailto:information@member.daichi.or.jp)

- 日本の第一次産業を守り育てること、人々の生命と健康を守ること、持続可能な社会を創造すること。3つを軸にしてソーシャルビジネス（社会的活動）活動を進めています。

### ○ 神奈川県「ほうとくエネルギー株式会社」

住所／神奈川県小田原市浜町1丁目1番46号 TEL /0465-23-0077

- 小田原市の地元企業38社が出資。市民と協働で再生可能エネルギーの導入を進めています。太陽光発電のほかにも、小水力発電プロジェクトも検討中。

### ○ 東京都「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」

住所／東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2階244 メールアドレス／[contact@enekei.jp](mailto:contact@enekei.jp)

- 経営者の視点でエネルギー問題を捉え、地域での再生可能エネルギーを通じて持続可能な地域経済と地域社会の自立を目指し活動しています。新潟にも趣旨に賛同する経営者たちが活動を進めています

### ○ 山口県「市民エネルギーやまぐち株式会社」

住所／山口県山口市前町2-1 TEL /083-933-0777

- 山口県民が自分たちの力で、自分たちのお金を使って、自分たちの仕事を生み出しながら「エネルギーの地産地所有」をみんなで実現したい！という思いの元、地域で連携し、主な事業として自然エネルギーを利用した発電・売電事業を行う、非営利型株式会社です。

### ○ 徳島県「一般社団法人 徳島地域エネルギー」

住所／徳島県徳島市伊月町1-32 土地改良会館5F TEL /088-624-8375

- 再生可能エネルギーで自立した地域をめざすため、市民によって設立された団体です。地域の力を合わせて徳島の再生可能エネルギーに取り組んでいます。

### ○ 九州「NPO法人 九州バイオマスフォーラム」

住所／熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816 TEL /0967-22-1013

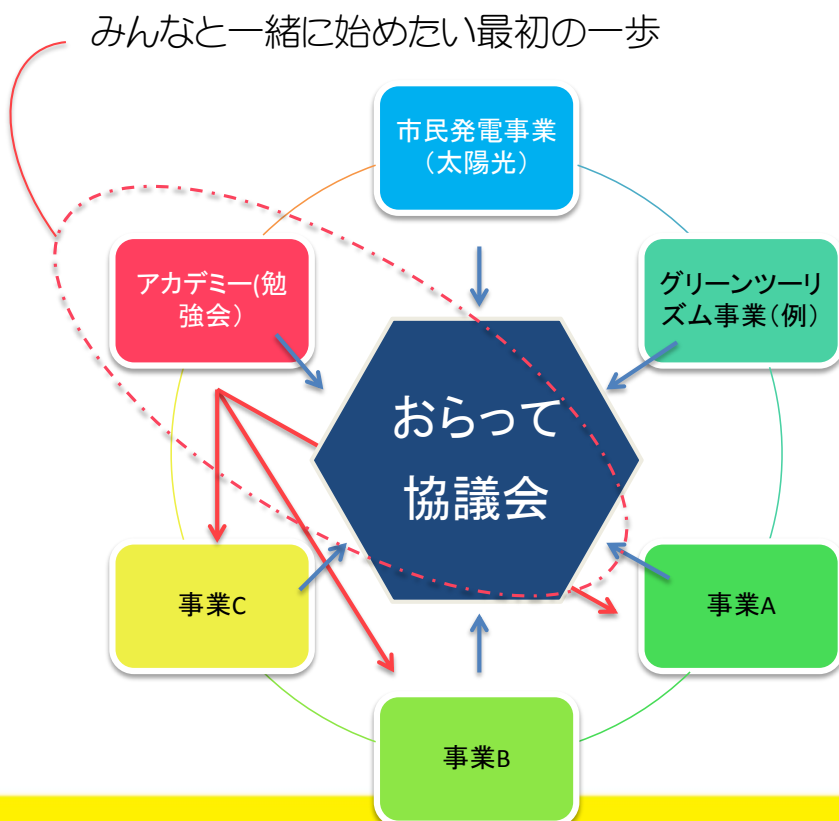
- バイオマスの普及を目指し、九州の中で地域の特性を活かした資源循環型の仕組みづくりを進めています。環境保全と地域経済の両立を実現可能にする活動を行っています。

# にいがた市民発電宣言

私たちは、豊かな自然に恵まれたここ新潟の地から、次世代の新しい社会のあり方を模索し、実現するために、市民による発電事業を開始することを決めました。

この事業を通じて私たちは、自らエネルギーのあり方を考え、実践するのみならず、地域の食、農、自然、伝統、歴史を活かし、未来の世代のための新しい地域の姿を新潟から創りだしたいと思います。

## 市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会



「おらって」にいがた市民エネルギー準備会

# 市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

## これからのタイムスケジュール(案)

平成26年(2014年)				平成27年(2015年)			
9	10	11	12	1	2	3	4
● キック オフ イベ ント	← 協議会立ち上げ準備会 →			← おらって協議会発足 →			
	← おらってアカデミー →						
	← 発電事業開始準備 →			← 発電事業主体発足 →			★ 発電

「おらって」にいがた市民エネルギー準備会

# 市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

## おらっての最初の一步(共有・参加の場)

### 第1回 協議会準備会

10/12 万代市民会館  
404大研修室

第1部 15:00  
「市民発電を実現するために」  
第2部 16:30  
「協議会を立ち上げるために」  
懇親会 18:00

アドバイザー  
ISEP所長 飯田哲也さん

### 第1回 おらってアカデミー

10/25 新潟・市民映画館  
シネ・ウインド

2つの映画から考えるエネルギーと  
暮らし鑑賞会&座談会

『パンドラの約束』

ロバート・ストーン(監督・脚本)  
12:20上映開始

『あいときぼうのまち』

菅野廣(監督) 井上純一(脚本)  
14:15上映開始

座談会 18:30~新潟市総合福祉会館  
共催:新潟・市民映画館シネ・ウインド  
協力:コミュニティシネマにいがた

「おらって」にいがた市民エネルギー準備会



多様な人がいろんなふうに関わって、楽しい「おらって」に！  
河田 陽介

市民エネルギー発電によって未来の新潟の活性化に貢献する。  
中山 大輔

次の、またその次の世代のために、一緒に希望をつくりましょう。  
佐々木 寛



コンセントの向こう側にある世界を想像するための第一歩へ！  
渡辺 福太郎

夢を語り住み良い新潟へ♡  
NaとWatteでOratte共に。  
横山 由美子

まだスタートラインを引いただけです。一緒に歩を進めましょう。  
小泉 英康

市民のエネルギーが、原発に取って代わるそんな明日が来ることを願っています。  
小木曾 茂子



「さようなら原発」と聞いて「こんにちは市民発電」と言う心地よさ。  
服部 泰

化石燃料自給率たった4%。エネルギーの地産地消しましょう。新潟の再生可能エネルギーで。  
白井 智雄

We Love Niigata！新潟から皆で新しい風を吹かせましょう♪  
稲田 照子

本気で夢を語る、カッコいい大人になる！  
山口 裕加



# 『おらっての電気つくろ』 想い！夢！メッセージ！

電気も、新潟の明るい未来も、自分達で創れると信じています。  
川崎 宗隆

一人ひとりの知恵と個性を活かし、一緒に想いを形にしましょう。  
木村 義彦

WSとFTで新潟から世界を変える勢いで頑張ります(^o^)!  
中原 濤佳

一番大切なエネルギーは「ひと」☆明日の新潟をつくるのはおらってよ～!  
橋本 桂子



エネルギーも政治も、食も経済も主権は市民（おらって）にあり。  
中山 均

「おらって」参加者全員で協力して新潟の未来を作り上げていく。  
今城 貴大

自分たちでエネルギーを創る＝経済・政治・社会の主体者となる！  
武田 貞彦

エネルギー問題の解決と地域活性化を「市民発電」で実現しよう。  
吉田 昌弘



事業関係者・市民一体となって新潟の未来を考え、創り出していく。  
武藤 梨奈

今、立ち上がれ新潟人！おらっての力でエネルギー作ろてば～♪  
横木 将人

エネルギーと食料を自給する持続可能な新潟をつくりたい！  
土居 哲也

100年先の未来でも、新潟が新潟であるために。  
岡田 篤志

